

めぐみ厚生センター恵友会 会報

第 2 9 3 号

めぐみ厚生センター恵友会

法人本部	0952-25-2797
めぐみ園	0952-34-7722
富士学園	0952-63-0107
ウイズ富士	0952-51-0063

発行人 副島 勉

郵便振替
事務局

めぐみ厚生センター恵友会
〒840-2223 佐賀市東与賀町大字飯盛1584

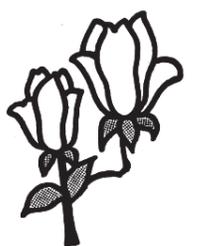
口座番号： 01770-6-12389

(めぐみ園内) : tel 0952-34-7722

『隣人として』



佐賀めぐみ教会会員
富 樫 理 子



日差しが次第に春めいて、多布施川にも春鳥を多く見かけるようになりました。

グループホームめぐみ、ウイズ富士のお隣さんとして、数年が経ちました。お天気がいいと利用者みなさんは外に出る機会が増えます。私を見かけるとむこうから大きく手を振って、「お弁当買ってきたよー」「何買ったと?」「親子丼」「図書館へ行ってきた」などニコニコと答えてくれます。中には私のピアノが聞きたいと家を訪れる人も・・・。

利用者の方々は支援員さんの見守りのもと、自分らしく行動しているようにもみえます。めぐみ教会の礼拝には、交代で五、十名の方が出席されます。バスで送迎されていた頃より、出席は自由のため参加は減少するかと予想しましたが、不思議と少なくなりません。一緒に聖書を読み、讃美歌をうたいますが、私たちが葉をはさんで渡すのですが、正直歌詞は適当で聖書の内容を理解するのは難しいのでは?と思われる方もおられます。当初は内容がわからなくて辛いのかと思ったこともありましたが、最近では共にこの時を過ごすことに意味があると考えるようになりました。

「今が恵みの時」です。

日曜学校にも数名の方が参加されています。子供たちが学校行事等で欠席のとき、説教者にとつて彼らがいてくれることがどれほど励みになることでしょう!。答礼という訳ではありませんが日曜学校と礼拝の間にお茶をお出ししています。これはある利用者の方が、水を飲まないとい具合が悪くなるので「途中で水を飲ませてください」と施設の方から頼まれ、お友達にも出すようになったものです。このときも貴重な交わりの時となっています。

私は「オルゲルフロインデ」というパイプオルガン演奏のグループに属し、毎年十二月に教会でクリスマスコンサートをひらいています。利用者の方も楽しみにしてくれていて、昨年も聴きにきてくれました。が、突然一人の方が大声で怒り始めたのです。どうしたのかと思って聞いてみると、後ろの席に案内されたので「オルガンと弾いている人が見えない」とのことです。手を引いて近くの席に案内したら落ち着いてくれました。それほどまでに、音楽を真剣に聴いてくれていたのですね。私も襟をただされる気持ちでした。今年もめぐみ厚生センターでは夏祭り、バザー等、いろいろな行事があり

ます。私も顔が見える関係を保ち、行事にもできるだけ参加して共通の思い出を増やしていきたいと思っています。

地域住民として暖かい関係を築きながら、共に招かれた者として教会にも来てほしいと思います。

「見よ、兄弟が共に座っている。
何という恵み、何という喜び」。

(詩編133:1)



◎会費納入

ありがとうございます。

(平成二十五年三月一日現在)

吉村涼子、田中哲雄、諫山裕一

(敬称略)



◆平成二七年度会費納入について
恵友会費は年間二、〇〇〇円になっています。

◇今回、振り込み用紙を同封しておりますので、ご利用下さい。

(事務局に手渡しでも構いません)
◇会報紙は、めぐみ厚生センターのホームページにも掲載しております。会報の発送が不要な方等は事務局までご連絡下さい。

◆その他
会報紙に掲載する会員の方の作品を幅広く募集中♪

・自薦・他薦・ジャンル等、一切制限はありません。

皆様のお便りをお待ちしています！



※ お知らせ ※
平成二七年度
障害福祉サービス
事業所説明会



佐賀県においては左記の事項について三月末に説明会が設けられます。

- 一、平成二七年度障害保健福祉部予算
 - 二、障害者総合支援法の対象疾病の見直し
 - 三、社会福祉施設等施設設備
 - 四、障害福祉サービス事業所等の整備及び適切な運営等
 - 五、介護職員等による喀痰吸引等の実施
 - 六、地域生活支援拠点
 - 七、強度行動障害を有する者に対する支援
 - 八、平成二七年度障害福祉サービス等報酬改定
 - 九、障害者の就労支援の推進等
 - 十、計画相談支援・障害児相談支援の必須化
 - 十一、障害者虐待の早期発見・未然防止
 - 十二、障害者の地域生活への移行等
 - 十三、障害児支援
 - 十四、長期入院精神障害者の地域移行の推進
 - 十五、障害者差別解消法の施行準備
- 具体的内容については、会報紙面でも随時、報告予定をしております。
- 虐待・児童福祉・対象疾病の見直し等、現場支援においても新たに学びながら制度が変わっても「原点回帰」・・・福祉の基本理念を忘れずに次世代へのバトンタッチをしなければ・・・

先駆者の言葉をご紹介します



福祉施策の中で変わるもの・変わらないものは? ～福祉の原点～

野口幽香【母子ホームの先駆者】
「どの子にも平等に保育を」

～明治33年「二葉保育園」を設立～

留岡幸助「少年感化事業の一人者」
「私は北海道の開拓に行くのではない
心の開拓に行くのである」

～明治32年東京に「家庭学校」設立～
～大正3年「北海道家庭学校」設立～

久保寺保久【山下清画伯の恩師】
「踏むな、育てよ、水そそげ」

～昭和3年「八幡学園」設立～

石井亮一【日本の知的障害児者福祉の創始者】
「人は誰かを支えている時には、
自分のことばかり考えるけれど、
実は相手からどれだけ恵みをもたらしているかは、
気づかないものだよ」

～明治24年「滝乃川学園」創立～

石井十次「児童福祉の父」
「信じて疑ふことなかれ。
祈りて倦(う)むことなかれ。
為せよ、屈することなかれ。
時重なればその事必ず成らん」

～明治20年日本初の孤児院設立～

糸賀一雄【社会福祉の父】
「この子らを世の光に」

～昭和21年「近江学園」創立～

昇地三郎「障害児教育の草分け的存在」

「ちいさきは、ちいさきままに
折れたるは、折れたるままに
コスモスの咲く」

～昭和29年「しいのみ学園」創立～

※昇地先生直筆の額を富士学園に飾っています※



会員の作品

感謝

東与賀在住の石丸智子さんから作品をいただきました。
東日本大震災から丸四年・・・被災地の皆様の一日も早い心の回復を祈っています。



編集後記

春一番♪ この会報が皆様のお手元に届く頃には、優しい風に包まれた後かもしれないね。
めぐみ園にも「春一番」がふき荒れました。去る三月三日、懐かしいアイドル・キャンディーズが、利用者・家族・職員でのカラオケ大会で復活！
S・T・Tさん母、ありがとうございます！
ございました。可愛いかったです☆
(編集局)

